

新聞29日組30日付朝刊 ラ・テ29日午後2時以降解禁

平成22年3月29日  
医政局医事課試験免許室  
照会先 大久保、佐々木  
内線2573・2574  
代表 03-5253-1111

### 第104回医師国家試験の合格発表について

平成22年2月13日（土）、14日（日）及び15日（月）に東京都他11か所において実施した第104回医師国家試験の合格者を平成22年3月29日（月）午後2時から発表する。

なお、当該試験の合格者数等は下記のとおりである。

#### 記

	(出願者数)	(受験者数)	(合格者数)	(合格率)
新卒者	7,912人	7,701人	7,147人	92.8%
全体	8,705人	8,447人	7,538人	89.2%

## 第104回医師国家試験の合格基準

第104回医師国家試験の合格基準は、

- 一般問題を1問1点、臨床実地問題を1問3点としたとき、
- ①必修問題については、160点以上/200点  
但し、必修問題の一部を採点から除外された受験者にあつては、  
必修問題の得点について総点数の80%以上とする。
  - ②必修問題を除いた一般問題及び臨床実地問題については、  
一般問題は、123点以上/196点  
臨床実地問題は、378点以上/585点
  - ③禁忌肢問題選択数は、3問以下

とする。

第 104 回医師国家試験における採点除外等の取扱いとした問題について

A 45

45 8か月の乳児。発達の遅れを主訴に来院した。4か月健診で肝・脾の腫大を指摘され経過観察されていた。2か月前から全身の筋緊張亢進が著明になった。首はすわっているが、寝返りとお座りとはできない。身長64.1 cm(-2.3 SD)、体重6.9 kg(-2.2 SD)。顔貌に異常を認めない。腹部は膨隆し、右肋骨弓下に肝を5 cm、左肋骨弓下に脾を7 cm 触知する。

診断に有用なのはどれか。

- a 脳波
- b 筋電図
- c 骨髄像
- d 腹部 CT
- e 血中乳酸値

採点上の取扱い

採点対象から除外する。

理由

問題としては適切であるが、受験生レベルでは難しすぎるため採点対象から除外する。


## 第 104 回医師国家試験における採点除外等の取扱いとした問題について

A 56

56 53歳の女性。事務職。眼の圧迫感を主訴に来院した。5年前から気管支喘息があり、副腎皮質ステロイド吸入薬を使用している。3年前から夕方になると、眼がかすむことがあった。最近は、書類が見つらくなり眼の痛みを感じるが多い。眼位と眼球運動とに異常を認めない。視力は右 1.0 (1.2 × -0.25 D)、左 1.2 (矯正不能)。眼圧は右 22 mmHg、左 22 mmHg。細隙灯顕微鏡検査では前眼部、中間透光体および眼底に異常を認めない。静的量的視野検査で異常は検出されない。涙液分泌検査 Schirmer テスト I 法で右 10 mm、左 10 mm。調節幅は両眼ともに 2.0 D である。

対応として適切なのはどれか。

- a 抗菌薬点眼
- b  $\beta$  遮断薬点眼
- c トロピカミド点眼
- d 遠用眼鏡処方
- e 近用眼鏡処方

### 採点上の取扱い

採点対象から除外する。

### 理由

問題としては適切であるが、受験生レベルでは難しすぎるため採点対象から除外する。

第 104 回医師国家試験における採点除外等の取扱いとした問題について

C 1

- 1 我が国の自殺について正しいのはどれか。
- a 女性に多い。
  - b 独居者に多い。
  - c 手段として縊頸が最も多い。
  - d 自殺率は九州地方が最も高い。
  - e 自殺者数は年間5万人を超えている。

採点上の取扱い

正解した受験者については、採点対象に含め、不正解の受験者については採点対象から除外する。

理 由

問題としては適切であるが、必修問題としては妥当でないため。


第 104 回医師国家試験における採点除外等の取扱いとした  
問題について

C 11

- 11 重症心身障害児で頻度が高いのはどれか。
- a 食道アカラシア
  - b 胃食道逆流症
  - c 胃潰瘍
  - d 蛋白漏出性胃腸症
  - e 過敏性腸症候群

採点上の取扱い

正解した受験者については、採点対象に含め、不正解の受験者については採点対象から除外する。

理 由

問題としては適切であるが、必修問題としては妥当でないため。

# 第 104 回医師国家試験における採点除外等の取扱いとした問題について

C 29

次の文を読み、28、29の問いに答えよ。

55歳の女性、右下腹部痛を主訴に来院した。

現病歴：5日前から毎日就寝前に右下腹部痛が出現したが、中途覚醒はせず、起床時には軽快するため放置していた。本日は腹痛が軽快しないため来院した。経過中発熱はない。便通1回/日。

既往歴：18歳時に卵巣嚢腫で右卵巣摘出術、28歳時に帝王切開で出産、37歳時に急性虫垂炎で虫垂切除術。

生活歴：特記すべきことはない。

家族歴：特記すべきことはない。

現症：意識は清明。体温36.8℃。脈拍80/分、整。血圧102/68 mmHg。頰頰部と胸部とに異常を認めない。腹部は平坦で、肝・脾を触知しない。McBurney点の約4cm頭側を中心に圧痛があり、同部位に限局して筋性防御と反跳痛とを認める。かかと落としにて腹痛は増強する。

検査所見：尿所見：潜血(-)、白血球反応(-)。血液所見：赤血球421万、Hb 12.2 g/dl、Ht 38%、白血球13,000(桿状核+分葉核好中球71%、好酸球2%、好塩基球0%、単球5%、リンパ球22%)、血小板26万。血液生化学所見：血糖107 mg/dl、アルブミン3.9 g/dl、尿窒素素8.6 mg/dl、クレアチニン0.8 mg/dl、総ビリルビン0.5 mg/dl、AST 13 IU/l、ALT 12 IU/l、LD 196 IU/l(基準176~353)、ALP 289 IU/l(基準115~359)、Na 136 mEq/l、K 4.6 mEq/l、Cl 106 mEq/l。CRP 4.8 mg/dl。腹部造影CT(別冊No. 2)を別に示す。

別冊

No. 2

29 対応として適切なものはどれか。

- a 経過観察
- b 非ステロイド性抗炎症薬投与
- c 抗菌薬投与
- d 超音波ガイド下ドレナージ
- e 開腹手術

## 採点上の取扱い

正解した受験者については、採点対象に含め、不正解の受験者については、採点対象から除外する。

## 理由

問題としては適切であるが、必修問題としては妥当でないため。

問題としては適切であるが、必修問題としては妥当でないため。

第 104 回医師国家試験における採点除外等の取扱いとした問題について

D 38

38 生後7日の新生児。妊娠中羊水過多がみられた。在胎38週、体重3,250gで出生した。Apgarスコア1点(1分)、3点(5分)。出生直後から人工換気を必要としている。筋緊張は著明に低下し、腱反射は軽度減弱している。

考えられるのはどれか。

- a Leigh 脳症
- b Down 症候群
- c Werdnig-Hoffmann 病
- d 先天性筋強直性ジストロフィー
- e Duchenne 型進行性筋ジストロフィー

採点上の取扱い

採点対象から除外する。

理由

問題としては適切であるが、受験生レベルでは難しすぎるため採点対象から除外する。

第 104 回医師国家試験における採点除外等の取扱いとした  
問題について

E 15

- 15 感染経路検索が感染拡大予防に有用なのはどれか。3つ選べ。
- a 破傷風
  - b A型肝炎
  - c 変異型 Creutzfeldt-Jakob 病
  - d 後天性免疫不全症候群 (AIDS)
  - e 重症急性呼吸器症候群 (SARS)

採点上の取扱い

複数の選択肢を正解として採点する。

理 由

複数の正解肢があるため。

複数の正解肢があるため。

第 104 回医師国家試験における採点除外等の取扱いとした問題について

E 23

23 感染症発生動向調査事業(サーベイランス)で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 患者発生時の防疫を目的とする。
- b 発生情報は患者本人の同意を得て収集される。
- c 1～4類感染症には全数把握と定点把握とがある。
- d 2～5類感染症は疑似症も収集される。
- e 発生情報は週ごとに公表される。

採点上の取扱い

採点対象から除外する。
-------------

理 由

問題としては適切であるが、受験生レベルでは難しすぎるため採点対象から除外する。

第 104 回医師国家試験における採点除外等の取扱いとした問題について

E 41

41 ある集団における要因 A の割合は 25 % であり、要因 A による疾患 B 発症の相対危険度は 2.0 であった。

要因 A を取り除いた場合に疾患 B を予防できる割合はどれか。

- a 10 %
- b 20 %
- c 30 %
- d 40 %
- e 50 %

採点上の取扱い

複数の選択肢を正解として採点する。

理 由

複数の正解肢があるため。

# 第 104 回医師国家試験における採点除外等の取扱いとした問題について

E 69

次の文を読み、67～69の問いに答えよ。

58歳の男性、体重増加と下肢の浮腫とを主訴に来院した。

現病歴：3年前から降圧薬の投与を受けていた。3か月前から尿の泡立ちに気づき、1か月前から下肢の浮腫と3kgの体重増加とを認めている。

既往歴：特記すべきことはない。

生活歴：喫煙歴はない。飲酒は機会飲酒。

家族歴：父に高血圧がある。

現症：意識は清明。身長167cm、体重72kg、体温36.4℃。脈拍68/分、整。血圧146/90mmHg。心音と呼吸音とに異常を認めない。腹部は平坦、軟で、肝・脾・腎を触知しない。前脛骨部に圧痕を伴う浮腫を認める。

検査所見：尿所見：蛋白4+、糖(-)、尿潜血1+、24時間尿蛋白4.2g/日。尿赤血球5～10/HPF、尿沈渣(超生体染色)の写真(別冊No. 16A)を別に示す。血液所見：赤血球420万、Hb12.4g/dl、Ht38%。血液生化学所見：血糖98mg/dl、HbA<sub>1c</sub>5.2%、総蛋白5.0g/dl、アルブミン2.4g/dl、尿素窒素18mg/dl、クレアチニン1.0mg/dl、尿酸6.2mg/dl、総コレステロール325mg/dl、Na142mEq/l、K3.6mEq/l、Cl108mEq/l、Ca8.4mg/dl、P2.7mg/dl。腎生検のH-E染色標本(別冊No. 16B)、蛍光抗体基底膜(緑)とIgG(赤)染色標本(別冊No. 16C)及び電子顕微鏡写真(別冊No. 16D)を別に示す。

別冊  
No. 16 A、B、C、D

69 治療として適切でないのはどれか。

- a 免疫抑制薬投与
- b アルブミン製剤投与
- c 塩分制限(6g未満/日)
- d 摂取エネルギー量制限(25kcal/kg/日)
- e レニン・アンジオテンシン系抑制薬投与

## 採点上の取扱い

採点対象から除外する。

## 理由

問題としては適切であるが、受験生レベルでは難しすぎるため採点対象から除外する。

第 104 回医師国家試験における採点除外等の取扱いとした  
問題について

F 3

3 一般用語と専門用語の組合せで誤っているのはどれか。

- a backbone ————— spine
- b belly ————— abdomen
- c chickenpox ————— varicella
- d forehead ————— cranium
- e sleeplessness ————— insomnia

採点上の取扱い

正解した受験者については、採点対象に含め、不正解の受験者については、採点対象から除外する。

理 由

問題としては適切であるが、必修問題としては妥当でないため。

問題としては適切であるが、必修問題としては妥当でないため。

第 104 回医師国家試験における採点除外等の取扱いとした  
問題について

F 5

- 5 寝たきりの患者に浮腫がないか確認したい。  
軽度の浮腫を見逃さないために診察する部位はどれか。
- a 前額部
  - b 手背部
  - c 仙骨部
  - d 前脛骨部
  - e 足背部

採点上の取扱い

正解した受験者については、採点対象に含め、不正解の受験者については、採点対象から除外する。

理 由

問題としては適切であるが、必修問題としては妥当でないため。

第 104 回医師国家試験における採点除外等の取扱いとした問題について

F 21

21 56歳の男性。30分前からの胸部圧迫感を主訴に来院した。モニター心電図とパルスオキシメーターを装着し仰臥位で診察を始めた直後に意識を消失し、いびきをかきはじめ不規則な呼吸となった。頸動脈拍動は触知せず、心電図上の心拍数は36/分である。パルスオキシメーターはエラーを表示している。

処置としてまず行うのはどれか。

- a 上半身を起こす。
- b 胸骨圧迫を開始する。
- c 酸素マスクを装着する。
- d アトロピンを静注する。
- e ニトログリセリン貼付薬をはる。

採点上の取扱い

複数の選択肢を正解として採点する。

理由

複数の正解肢があるため。

第 104 回医師国家試験における採点除外等の取扱いとした問題について

F 25

25 受診した患者にある疾患を疑い、2つの異なる検査 A と検査 B とを施行した。結果は検査 A が陰性、検査 B が陽性であった。いずれの検査も感度 50 %、特異度 95 % である。

検査前と比較した検査後の疾患を有する確率として正しいのはどれか。

- a 小さくなる。
- b 変化しない。
- c 大きくなる。
- d 大きくなる場合と小さくなる場合がある。
- e 予測ができなくなる。

採点上の取扱い

正解した受験者については、採点対象に含め、不正解の受験者については、採点対象から除外する。

理 由

問題としては適切であるが、必修問題としては妥当でないため。

第 104 回医師国家試験における採点除外等の取扱いとした  
問題について

H 11

- 11 母体・胎児評価とその方法の組合せで正しいのはどれか。
- a 軟産道 ————— 骨盤外計測法
  - b 骨産道 ————— 超音波検査
  - c 陣痛周期 ————— 内 診
  - d 胎児心拍 ————— ドブラ (Doppler) 法
  - e 胎位・胎向 ————— パルトグラム

採点上の取扱い

複数の選択肢を正解として採点する。

理 由

複数の正解肢があるため。

複数の正解肢があるため。

第 104 回医師国家試験における採点除外等の取扱いとした  
問題について

I 11

- 11 小児骨折で正しいのはどれか。2つ選べ。
- a 屈曲変形は自然矯正される。
  - b 回旋変形は自然矯正される。
  - c 短縮変形は自然矯正される。
  - d 靭帯損傷を合併することが多い。
  - e 骨幹部は骨幹端部よりも自家矯正能力が高い。

採点上の取扱い

採点対象から除外する。

理 由

選択肢が不明瞭であり正解が得られないため、採点対象から除外する。

第 104 回医師国家試験における採点除外等の取扱いとした  
問題について

I 15

- 15 多関節型の若年性特発性関節炎で認められる検査所見はどれか。2つ選べ。
- a 補体低下
  - b 血小板減少
  - c フェリチン高値
  - d リウマトイド因子(RF)陽性
  - e matrix metalloproteinase-3 (MMP3)高値

採点上の取扱い

採点対象から除外する。

理 由

問題としては適切であるが、受験生レベルでは難しすぎるため採点対象から除外する。


第 104 回医師国家試験における採点除外等の取扱いとした問題について

I 36

36 気管支喘息の病理所見として正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 平滑筋層の肥厚
- b リンパ球の浸潤
- c 細気管支の破壊
- d 基底膜部の線維化
- e 気道上皮の過形成

採点上の取扱い

採点対象から除外する。

理 由

問題としては適切であるが、受験生レベルでは難しすぎるため採点対象から除外する。

## 第 104 回医師国家試験における採点除外等の取扱いとした問題について

I 60

60 19歳の女性。無月経を主訴に来院した。10歳時に1型糖尿病と診断され、以後インスリンによる治療を開始した。1年ほど前から体重が次第に減少し、このころから無月経となった。身長158cm、体重32kg。脈拍48/分、整。血圧84/52mmHg。血液所見：赤血球390万、Hb8.6g/dl、Ht38%、白血球3,500。血液生化学所見：空腹時血糖128mg/dl、HbA<sub>1c</sub>6.2%、総蛋白6.3g/dl、Na145mEq/l。前胸部から腋窩にかけての写真(別冊No.16)を別に示す。

この病態でみられるのはどれか。

- a LH 高値
- b コルチゾール低値
- c 成長ホルモン高値
- d インスリン様成長因子高値
- e 遊離トリヨードサイロニン高値

別 冊

No. 16

### 採点上の取扱い

採点対象から除外する。

### 理 由

問題としては適切であるが、受験生レベルでは難しすぎるため採点対象から除外する。

### 医師国家試験の回数別合格状況

回数	施行年月日	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率(%)
104	22. 2. 13 ~ 15	8,447	7,538	89.2
103	21. 2. 14 ~ 16	8,428	7,668	91.0
102	20. 2. 16 ~ 18	8,535	7,733	90.6
101	19. 2. 17 ~ 19	8,573	7,535	87.9
100	18. 2. 18 ~ 20	8,602	7,742	90.0
99	17. 2. 19 ~ 21	8,495	7,568	89.1
98	16. 3. 20 ~ 22	8,439	7,457	88.4
97	15. 3. 15 ~ 17	8,551	7,721	90.3
96	14. 3. 16 ~ 18	8,719	7,881	90.4
95	13. 3. 17 ~ 19	9,266	8,374	90.4

## 男女別合格者数等の推移

回数		総 数	男性	女性	男女別合格率	
					男性	女性
104 H22春	受験者数 (%)	8,447	5,711 (67.6)	2,736 (32.4)		
	合格者数 (%)	7,538	5,039 (66.8)	2,499 (33.2)	88.2	91.3
103 H21春	受験者数 (%)	8,428	5,638 (66.9)	2,790 (33.1)		
	合格者数 (%)	7,668	5,046 (65.8)	2,622 (34.2)	89.5	94.0
102 H20春	受験者数 (%)	8,535	5,679 (66.5)	2,856 (33.5)		
	合格者数 (%)	7,733	5,067 (65.5)	2,666 (34.5)	89.2	93.3
101 H19春	受験者数 (%)	8,573	5,811 (67.8)	2,762 (32.2)		
	合格者数 (%)	7,535	5,022 (66.6)	2,513 (33.4)	86.4	91.0
100 H18春	受験者数 (%)	8,602	5,892 (68.5)	2,710 (31.5)		
	合格者数 (%)	7,742	5,213 (67.3)	2,529 (32.7)	88.5	93.3
99 H17春	受験者数 (%)	8,495	5,744 (67.6)	2,751 (32.4)		
	合格者数 (%)	7,568	5,019 (66.3)	2,549 (33.7)	87.4	92.7

第104回 医師国家試験 卒業年次別受験者数・合格者数・合格率

卒業年次		受験可能回数	受験者数	構成比	合格者数	合格率
新卒	平成21年4月～ 平成22年3月	1回	7,701	91.2	7,147	92.8
既卒	平成20年4月～ 平成21年3月	2回	395	4.7	281	71.1
	平成19年4月～ 平成20年3月	3回	95	1.1	59	62.1
	平成18年4月～ 平成19年3月	4回	38	0.4	17	44.7
	平成17年4月～ 平成18年3月	5回	48	0.6	18	37.5
	平成16年4月～ 平成17年3月	6回	18	0.2	2	11.1
	平成15年4月～ 平成16年3月	7回	19	0.2	3	15.8
	平成14年4月～ 平成15年3月	8回	15	0.2	1	6.7
	平成13年4月～ 平成14年3月	9回	15	0.2	3	20.0
	平成13年3月以前	10回以上	103	1.2	7	6.8
	計			746	8.8	391
総計			8,447	100.0	7,538	89.2

新聞29日組30日付朝刊 ラ・テ29日午後2時以降解禁

平成22年3月29日  
医政局医事課試験免許室  
照会先 大久保、佐々木  
内線2573・2574  
代表03-5253-1111

## 第104回医師国家試験の学校別合格者状況について

平成22年3月29日(月)午後2時に発表を行った医師国家試験の合格発表に関する資料として、昨年同様「学校別合格者状況」を配布いたします。

なお、当該資料に基づいて記事にされる場合、ベスト5・ワースト5等といった記載は差し控えていただきますようお願いいたします。

	(出願者数)	(受験者数)	(合格者数)	(合格率)
新卒者	7,912人	7,701人	7,147人	92.8%
全体	8,705人	8,447人	7,538人	89.2%

学 校 名	総 数				新 卒				既 卒			
	出願者数	受験者数	合格者数	合格率	出願者数	受験者数	合格者数	合格率	出願者数	受験者数	合格者数	合格率
北海道大学医学部	105	105	98	93.3	99	99	95	96.0	6	6	3	50.0
旭川医科大学	105	103	90	87.4	97	96	85	88.5	8	7	5	71.4
札幌医科大学	101	101	95	94.1	97	97	91	93.8	4	4	4	100.0
弘前大学医学部	105	105	96	91.4	97	97	92	94.8	8	8	4	50.0
岩手医科大学	95	93	72	77.4	80	78	65	83.3	15	15	7	46.7
東北大学医学部	118	116	103	88.8	106	106	100	94.3	12	10	3	30.0
秋田大学医学部	111	108	100	92.6	100	100	97	97.0	11	8	3	37.5
山形大学医学部	106	106	97	91.5	102	102	94	92.2	4	4	3	75.0
福島県立医科大学	84	84	80	95.2	79	79	76	96.2	5	5	4	80.0
筑波大学医学専門学群	99	95	90	94.7	94	90	86	95.6	5	5	4	80.0
群馬大学医学部	104	101	97	96.0	98	95	91	95.8	6	6	6	100.0
防衛医科大学校	63	63	59	93.7	63	63	59	93.7	0	0	0	0.0
自治医科大学	110	106	102	96.2	109	105	102	97.1	1	1	0	0.0
獨協医科大学	129	124	109	87.9	113	108	97	89.8	16	16	12	75.0
埼玉医科大学	136	114	103	90.4	128	106	99	93.4	8	8	4	50.0
千葉大学医学部	101	101	93	92.1	101	101	93	92.1	0	0	0	0.0
東京大学医学部	115	115	104	90.4	103	103	96	93.2	12	12	8	66.7
東京医科歯科大学医学部	84	80	78	97.5	79	76	75	98.7	5	4	3	75.0
杏林大学医学部	106	103	87	84.5	92	90	79	87.8	14	13	8	61.5
慶應義塾大学医学部	114	113	104	92.0	105	105	100	95.2	9	8	4	50.0
順天堂大学医学部	95	95	93	97.9	92	92	91	98.9	3	3	2	66.7
昭和大学医学部	121	120	111	92.5	112	112	106	94.6	9	8	5	62.5
帝京大学医学部	137	137	103	75.2	111	111	92	82.9	26	26	11	42.3
東京医科大学	121	111	100	90.1	109	100	95	95.0	12	11	5	45.5
東京慈恵会医科大学	106	105	97	92.4	104	103	96	93.2	2	2	1	50.0
東京女子医科大学	116	115	99	86.1	105	105	96	91.4	11	10	3	30.0
東邦大学医学部	111	110	102	92.7	102	102	95	93.1	9	8	7	87.5
日本大学医学部	124	121	116	95.9	118	116	112	96.6	6	5	4	80.0
産業医科大学	100	98	91	92.9	93	91	86	94.5	7	7	5	71.4
横浜国立大学医学部	62	60	57	95.0	60	59	56	94.9	2	1	1	100.0
日本医科大学	116	105	95	90.5	103	92	90	97.8	13	13	5	38.5
北里大学医学部	126	118	97	82.2	115	109	93	85.3	11	9	4	44.4
東海大学医学部	137	130	110	84.6	112	108	99	91.7	25	22	11	50.0

学 校 名	総 数				新 卒				既 卒			
	出願者数	受験者数	合格者数	合格率	出願者数	受験者数	合格者数	合格率	出願者数	受験者数	合格者数	合格率
聖マリアンナ医科大学	103	99	91	91.9	95	92	88	95.7	8	7	3	42.9
新潟大学医学部	110	105	96	91.4	102	99	92	92.9	8	6	4	66.7
富山大学医学部 (富山医科薬科大学を含む)	112	108	96	88.9	102	98	91	92.9	10	10	5	50.0
金沢大学医学部	112	112	98	87.5	99	99	91	91.9	13	13	7	53.8
金沢医科大学	143	122	95	77.9	115	95	77	81.1	28	27	18	66.7
福井大学医学部 (福井医科大学を含む)	116	111	100	90.1	107	103	98	95.1	9	8	2	25.0
山梨大学医学部 (山梨医科大学を含む)	116	113	103	91.2	111	108	98	90.7	5	5	5	100.0
信州大学医学部	94	94	84	89.4	85	85	79	92.9	9	9	5	55.6
岐阜大学医学部	82	82	75	91.5	78	78	75	96.2	4	4	0	0.0
浜松医科大学	106	106	98	92.5	102	102	96	94.1	4	4	2	50.0
名古屋大学医学部	120	116	105	90.5	109	107	101	94.4	11	9	4	44.4
名古屋市立大学医学部	82	82	78	95.1	76	76	76	100.0	6	6	2	33.3
愛知医科大学	128	114	92	80.7	116	102	85	83.3	12	12	7	58.3
藤田保健衛生大学医学部 (藤田学園保健衛生大学、名古屋保健衛生)	134	129	110	85.3	113	109	99	90.8	21	20	11	55.0
三重大学医学部	108	106	100	94.3	100	98	96	98.0	8	8	4	50.0
滋賀医科大学	105	104	103	99.0	102	102	102	100.0	3	2	1	50.0
京都大学医学部	117	114	101	88.6	103	102	97	95.1	14	12	4	33.3
京都府立医科大学	100	99	90	90.9	92	91	84	92.3	8	8	6	75.0
大阪大学医学部	118	116	104	89.7	107	105	98	93.3	11	11	6	54.5
大阪市立大学医学部	86	85	81	95.3	79	79	76	96.2	7	6	5	83.3
大阪医科大学	112	112	92	82.1	99	99	89	89.9	13	13	3	23.1
関西医科大学	103	101	93	92.1	95	93	89	95.7	8	8	4	50.0
近畿大学医学部	125	119	96	80.7	103	98	83	84.7	22	21	13	61.9
神戸大学医学部	119	118	104	88.1	109	108	101	93.5	10	10	3	30.0
兵庫医科大学	115	101	92	91.1	109	95	92	96.8	6	6	0	0.0
奈良県立医科大学	105	103	98	95.1	97	97	96	99.0	8	6	2	33.3
和歌山県立医科大学	58	58	50	86.2	56	56	49	87.5	2	2	1	50.0
鳥取大学医学部	80	80	70	87.5	75	75	67	89.3	5	5	3	60.0
島根大学医学部 (島根医科大学を含む)	96	96	84	87.5	86	86	80	93.0	10	10	4	40.0
岡山大学医学部	105	103	93	90.3	94	93	87	93.5	11	10	6	60.0
川崎医科大学	125	108	95	88.0	119	102	90	88.2	6	6	5	83.3
広島大学医学部	112	111	101	91.0	103	103	96	93.2	9	8	5	62.5
山口大学医学部	105	102	91	89.2	94	91	86	94.5	11	11	5	45.5

学 校 名	総 数				新 卒				既 卒			
	出願者数	受験者数	合格者数	合格率	出願者数	受験者数	合格者数	合格率	出願者数	受験者数	合格者数	合格率
徳島大学医学部	108	108	100	92.6	98	98	94	95.9	10	10	6	60.0
香川大学医学部 (香川医科大学を含む)	109	108	105	97.2	104	103	101	98.1	5	5	4	80.0
愛媛大学医学部	100	98	88	89.8	97	96	87	90.6	3	2	1	50.0
高知大学医学部 (高知医科大学を含む)	105	104	90	86.5	91	90	82	91.1	14	14	8	57.1
九州大学医学部	122	120	108	90.0	107	106	98	92.5	15	14	10	71.4
久留米大学医学部	117	114	96	84.2	101	98	90	91.8	16	16	6	37.5
福岡大学医学部	120	113	88	77.9	107	101	81	80.2	13	12	7	58.3
佐賀大学医学部 (佐賀医科大学を含む)	100	97	91	93.8	88	86	85	98.8	12	11	6	54.5
長崎大学医学部	118	118	103	87.3	107	107	99	92.5	11	11	4	36.4
熊本大学医学部	102	98	83	84.7	88	87	79	90.8	14	11	4	36.4
大分大学医学部 (大分医科大学を含む)	105	102	94	92.2	93	91	87	95.6	12	11	7	63.6
宮崎大学医学部 (宮崎医科大学を含む)	103	103	96	93.2	92	92	89	96.7	11	11	7	63.6
鹿児島大学医学部	116	111	98	88.3	102	98	91	92.9	14	13	7	53.8
琉球大学医学部	107	105	92	87.6	94	93	85	91.4	13	12	7	58.3
認定及び予備試験	58	58	19	32.8	33	33	16	48.5	25	25	3	12.0
総 合 計	8705	8447	7538	89.2	7912	7701	7147	92.8	793	746	391	52.4

新聞29日組30日付朝刊 ラ・テ29日午後2時以降解禁

平成22年3月29日  
医政局医事課試験免許室  
照会先 高田  
内線2578  
代表03-5253-1111

### 第103回歯科医師国家試験の合格発表について

平成22年2月6日（土）及び7日（日）に東京都他7カ所において実施した第103回歯科医師国家試験の合格者を、平成22年3月29日（月）午後2時に発表する。

なお、当該国家試験の合格者数等は下記のとおりである。

#### 記

	(出願者数)	(受験者数)	(合格者数)	(合格率)
新卒者	2,772人	2,355人	1,921人	81.6%
全体	3,905人	3,465人	2,408人	69.5%

平成22年3月29日  
医政局歯科保健課

## 第103回歯科医師国家試験の合格基準

第103回歯科医師国家試験の合格基準は、

一般問題（必修問題を含む）を1問1点、臨床実地問題を1問3点とし、  
次の①～⑤の全てを満たした者を合格とする。

- |                |             |
|----------------|-------------|
| ① 領域A（総論・各論Ⅰ）  | 69点以上／129点  |
| ② 領域B（各論Ⅱ・各論Ⅲ） | 98点以上／173点  |
| ③ 領域C（各論Ⅳ・各論Ⅴ） | 116点以上／200点 |
| ④ 必修問題         | 56点以上／70点   |

但し、必修問題の一部を採点から除外された受験生にあつては、  
必修問題の得点について総点数の80%以上とする。

- |            |      |
|------------|------|
| ⑤ 禁忌肢問題選択数 | 2問以下 |
|------------|------|

第103回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

A問題 第10問

10 口内法エックス線装置の管電流はどれか。1つ選べ。

a 10  $\mu$ A

b 100  $\mu$ A

c 1 mA

d 10 mA

e 100 mA

採点上の取扱い

正解した受験者については採点対象に含め、不正解の受験者については採点対象から除外する。

理 由

問題として適切であるが、必修問題としては妥当ではないため。

第103回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

A問題 第11問

- 11 介護老人福祉施設はどれか。1つ選べ。
- a グループホーム
  - b デイケアセンター
  - c 介護療養型病院
  - d 介護老人保健施設
  - e 特別養護老人ホーム

採点上の取扱い

正解した受験者については採点対象に含め、不正解の受験者については採点対象から除外する。

理由

問題として適切であるが、必修問題としては妥当ではないため。

第103回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

A問題 第16問

- 16 ヒト染色体で正しいのはどれか。1つ選べ。
- a 体細胞では44本ある。
  - b 卵子はY染色体をもつ。
  - c 数の異常は致死性である。
  - d 細胞の分裂間期で見られる。
  - e DNAと核タンパク質とからなる。

採点上の取扱い

正解した受験者については採点対象に含め、不正解の受験者については採点対象から除外する。

理 由

問題として適切であるが、必修問題としては妥当ではないため。

第103回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

A問題 第20問

- 20 ヒト骨格筋の発達を促すのはどれか。1つ選べ。
- a エストロゲン
  - b ソマトスタチン
  - c テストステロン
  - d バゾプレッシン
  - e プロゲステロン

採点上の取扱い

正解した受験者については採点対象に含め、不正解の受験者については採点対象から除外する。

理由

問題として適切であるが、必修問題としては妥当ではないため。

第103回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

A問題 第23問

23 上顎中切歯で見られるのはどれか。1つ選べ。

- a 尖 頭
- b 中心溝
- c 介在結節
- d 辺縁隆線
- e エナメル突起

採点上の取扱い

正解した受験者については採点対象に含め、不正解の受験者については採点対象から除外する。

理 由

問題として適切であるが、必修問題としては妥当ではないため。

第103回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

A問題 第24問

- 24 ピラゾロン系薬過敏症の原因となるのはどれか。1つ選べ。
- a アスピリン
  - b プレドニゾロン
  - c インドメタシン
  - d リゾチーム塩酸塩
  - e イソプロピルアンチピリン

採点上の取扱い

正解した受験者については採点対象に含め、不正解の受験者については採点対象から除外する。

理由

問題として適切であるが、必修問題としては妥当ではないため。

第103回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

A問題 第44問

- 44 エックス線画像で歯根膜腔が明瞭に描出される理由はどれか。2つ選べ。
- a 接線効果
  - b 光電効果
  - c 重積効果
  - d ヒール効果
  - e コンプトン効果

採点上の取扱い

採点対象から除外する。

理由

設問文が不明瞭であり正解が得られないため、採点対象から除外する。

第103回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

A問題 第53問

53 耐火模型の製作にあたり作業用模型上で行うのはどれか。2つ選べ。

- a 骨隆起のリリーフ
- b ビーディングの付与
- c ガイドプレーンの形成
- d 維持腕のワックスアップ
- e ティッシュストップの付与

採点上の取扱い

3通りの解答を正解として採点する。

理由

3つの選択肢が正解であるため、3通りの解答を正解として採点する。

第103回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

A問題 第124問

124 日和見感染を生じやすいのはどれか。すべて選べ。

- a 高 齢
- b 高血圧
- c 低栄養
- d 慢性貧血
- e 免疫抑制薬の連用

採点上の取扱い

採点対象から除外する。

理 由

設問文が不明瞭であり正解が得られないため、採点対象から除外する。

第103回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

C問題 第9問

- 9 健康増進法に基づく健康増進計画の策定義務があるのはどれか。1つ選べ。
- a 国
  - b 都道府県
  - c 政令市
  - d 特別区
  - e 市町村

採点上の取扱い

正解した受験者については採点対象に含め、不正解の受験者については採点対象から除外する。

理由

問題として適切であるが、必修問題としては妥当ではないため。

第103回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

C問題 第12問

- 12 検疫感染症の疑いのある者が入国する際にとられる措置はどれか。1つ選べ。
- a 隔離
  - b 停留
  - c 勾留
  - d 入院
  - e 入国拒否(退去命令)

採点上の取扱い

正解した受験者については採点対象に含め、不正解の受験者については採点対象から除外する。

理由

問題として適切であるが、必修問題としては妥当ではないため。

第103回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

C問題 第13問

13 エックス線が生物学的影響を引き起こす作用はどれか。1つ選べ。

- a 透過
- b 蛍光
- c 電離
- d 散乱
- e 回折

採点上の取扱い

正解した受験者については採点対象に含め、不正解の受験者については採点対象から除外する。

理由

問題として適切であるが、必修問題としては妥当ではないため。

第103回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

C問題 第15問

- 15 部分床義歯の支台装置製作で複模型の印象直前の作業はどれか。1つ選べ。
- a 予備設計
  - b サベイング
  - c 人工歯排列
  - d 作業用模型製作
  - e 研究用模型製作

採点上の取扱い

正解した受験者については採点対象に含め、不正解の受験者については採点対象から除外する。

理由

問題として適切であるが、必修問題としては妥当ではないため。

第103回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

C問題 第16問

- 16 アレルギーで増加するのはどれか。1つ選べ。
- a 単球
  - b 好酸球
  - c 好中球
  - d 骨髄球
  - e 好塩基球

採点上の取扱い

正解した受験者については採点対象に含め、不正解の受験者については採点対象から除外する。

理由

問題として適切であるが、必修問題としては妥当ではないため。

第103回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

C問題 第18問

- 18 アルジネート印象体の消毒に適しているのはどれか。1つ選べ。
- a 紫外線
  - b ホルマリン
  - c グルタラール
  - d 消毒用アルコール
  - e 次亜塩素酸ナトリウム

採点上の取扱い

正解した受験者については採点対象に含め、不正解の受験者については採点対象から除外する。

理由

問題として適切であるが、必修問題としては妥当ではないため。

第103回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

C問題 第19問

- 19 *Streptococcus mutans* の特徴はどれか。1つ選べ。
- a  $\beta$  溶血性
  - b 酸感受性
  - c 偏性嫌気性
  - d パシトラシン感受性
  - e グリコーゲン様多糖の菌体内蓄積

採点上の取扱い

正解した受験者については採点対象に含め、不正解の受験者については採点対象から除外する。

理由

問題として適切であるが、必修問題としては妥当ではないため。

第103回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

C問題 第29問

29 身体の部位と主要常在細菌との組合せで正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 膣 ————— Lactobacillus
- b 膀胱 ————— Bacteroides
- c 小腸 ————— Helicobacter
- d 鼻腔 ————— Enterococcus
- e 皮膚 ————— Bifidobacterium

採点上の取扱い

正解した受験者については採点対象に含め、不正解の受験者については採点対象から除外する。

理由

問題として適切であるが、必修問題としては妥当ではないため。

第103回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

C問題 第73問

73 仰臥位から坐位にしたときに増加するのはどれか。すべて選べ。

- a 気道抵抗
- b 排痰機能
- c 1回換気量
- d 呼吸仕事量
- e 末梢血酸素飽和度

採点上の取扱い

採点対象から除外する。

理 由

設問文が不明瞭であり正解が得られないため、採点対象から除外する。

### 歯科医師国家試験合格者数等の推移

回数	施行年月日	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率(%)
第94回	H13. 3. 14～15	3,446 ( 2,526 )	3,125 ( 2,402 )	90.7 ( 95.1 )
第95回	H14. 3. 20～21	2,956 ( 2,627 )	2,462 ( 2,328 )	83.3 ( 88.6 )
第96回	H15. 3. 19～20	3,208 ( 2,675 )	2,932 ( 2,577 )	91.4 ( 96.3 )
第97回	H16. 3. 17～18	2,960 ( 2,660 )	2,197 ( 2,134 )	74.2 ( 80.2 )
第98回	H17. 3. 16～17	3,343 ( 2,583 )	2,493 ( 2,106 )	74.6 ( 81.5 )
第99回	H18. 2. 11～12	3,308 ( 2,487 )	2,673 ( 2,188 )	80.8 ( 88.0 )
第100回	H19. 2. 10～11	3,200 ( 2,580 )	2,375 ( 2,087 )	74.2 ( 80.9 )
第101回	H20. 2. 9～10	3,295 ( 2,487 )	2,269 ( 1,948 )	68.9 ( 78.3 )
第102回	H21. 2. 7～8	3,531 ( 2,516 )	2,383 ( 1,915 )	67.5 ( 76.1 )
第103回	H22. 2. 6～7	3,465 ( 2,355 )	2,408 ( 1,921 )	69.5 ( 81.6 )

※ ( ) 内は新卒者を示す

## 男女別合格者等の推移

回数		総数	男	女	男女別合格率 (%)	
					男	女
99	受験者数 (人)	3,308	2,160	1,148	77.9	86.3
	男女比 (%)		(65.3)	(34.7)		
	合格者数 (人)	2,673	1,682	991	71.3	79.4
	男女比 (%)		(62.9)	(37.1)		
100	受験者数 (人)	3,200	2,059	1,141	66.1	73.8
	男女比 (%)		(64.3)	(35.7)		
	合格者数 (人)	2,375	1,469	906	63.6	74.0
	男女比 (%)		(61.9)	(38.1)		
101	受験者数 (人)	3,295	2,112	1,183	67.1	73.7
	男女比 (%)		(64.1)	(35.9)		
	合格者数 (人)	2,269	1,396	873	67.1	73.7
	男女比 (%)		(61.5)	(38.5)		
102	受験者数 (人)	3,531	2,214	1,317	67.1	73.7
	男女比 (%)		(62.7)	(37.3)		
	合格者数 (人)	2,383	1,409	974	67.1	73.7
	男女比 (%)		(59.1)	(40.9)		
103	受験者数 (人)	3,465	2,199	1,266	67.1	73.7
	男女比 (%)		(63.5)	(36.5)		
	合格者数 (人)	2,408	1,475	933	67.1	73.7
	男女比 (%)		(61.3)	(38.7)		

卒業年次		受験可能回数	受験者数	構成比	合格者数	合格率
新 卒	平成21年 4月 ~ 平成22年 3月	1回	2355	68.0	1921	81.6
	平成20年 4月 ~ 平成21年 3月	2回	621	17.9	343	55.2
既 卒	平成19年 4月 ~ 平成20年 3月	3回	214	6.2	89	41.6
	平成18年 4月 ~ 平成19年 3月	4回	112	3.2	41	36.6
	平成17年 4月 ~ 平成18年 3月	5回	44	1.3	8	18.2
	平成16年 4月 ~ 平成17年 3月	6回	26	0.8	3	11.5
	平成15年 4月 ~ 平成16年 3月	7回	33	1.0	1	3.0
	平成14年 4月 ~ 平成15年 3月	8回	12	0.3	2	16.7
	平成13年 4月 ~ 平成14年 3月	9回	12	0.3		0.0
	平成13年 3月 以前	10回以上	36	1.0		0.0
	計		1110	32.0	487	43.9
	総 計			3465	100.0	2408

新聞29日組30日付朝刊 ラ・テ29日午後2時以降解禁

平成22年3月29日  
医政局医事課試験免許室  
照会先 高田  
内線2578  
代表03-5253-1111

## 第103回歯科医師国家試験の学校別合格者状況について

平成22年3月29日（月）午後2時に発表を行った歯科医師国家試験の合格発表に関する資料として、昨年同様「学校別合格者状況」を配布いたします。

なお、当該資料に基づいて記事にされる場合、ベスト5・ワースト5等といった記載は差し控えていただきますようお願いいたします。

	(出願者数)	(受験者数)	(合格者数)	(合格率)
新卒者	2,772人	2,355人	1,921人	81.6%
全体	3,905人	3,465人	2,408人	69.5%

## 第103回 歯科医師国家試験

## 学校別合格者状況

学 校 名	総 数				新 卒				既 卒			
	出願者数	受験者数	合格者数	合格率	出願者数	受験者数	合格者数	合格率	出願者数	受験者数	合格者数	合格率
北海道大学歯学部	67	67	60	89.6	59	59	53	89.8	8	8	7	87.5
北海道医療大学歯学部 (東日本学園大学歯学部を含む)	160	125	76	60.8	108	74	56	75.7	52	51	20	39.2
岩手医科大学歯学部	156	121	60	49.6	87	54	34	63.0	69	67	26	38.8
東北大学歯学部	66	66	56	84.8	49	49	47	95.9	17	17	9	52.9
奥羽大学歯学部 (東北歯科大学を含む)	198	150	76	50.7	125	82	49	59.8	73	68	27	39.7
明海大学歯学部 (城西歯科大学を含む)	187	166	97	58.4	128	107	69	64.5	59	59	28	47.5
日本大学松戸歯学部	172	144	100	69.4	127	99	78	78.8	45	45	22	48.9
東京医科歯科大学歯学部	72	71	59	83.1	62	62	53	85.5	10	9	6	66.7
東京歯科大学	158	140	126	90.0	139	121	113	93.4	19	19	13	68.4
日本歯科大学	177	138	110	79.7	144	105	93	88.6	33	33	17	51.5
日本大学歯学部	175	169	130	76.9	133	129	108	83.7	42	40	22	55.0
昭和大学歯学部	130	123	92	74.8	101	94	75	79.8	29	29	17	58.6
鶴見大学歯学部	218	184	105	57.1	134	100	77	77.0	84	84	28	33.3
神奈川歯科大学	191	163	106	65.0	138	110	79	71.8	53	53	27	50.9
新潟大学歯学部	54	52	47	90.4	41	41	40	97.6	13	11	7	63.6
日本歯科大学新潟生命歯学部 (日本歯科大学新潟歯学部を含む)	126	113	80	70.8	85	72	62	86.1	41	41	18	43.9
松本歯科大学	244	209	73	34.9	100	66	39	59.1	144	143	34	23.8
朝日大学歯学部 (岐阜歯科大学を含む)	234	200	113	56.5	145	112	87	77.7	89	88	26	29.5
愛知学院大学歯学部	173	158	114	72.2	143	130	99	76.2	30	28	15	53.6
大阪大学歯学部	67	67	60	89.6	61	61	57	93.4	6	6	3	50.0
大阪歯科大学	205	199	131	65.8	133	127	103	81.1	72	72	28	38.9
岡山大学歯学部	65	61	58	95.1	59	55	53	96.4	6	6	5	83.3
広島大学歯学部	65	65	48	73.8	52	52	45	86.5	13	13	3	23.1
徳島大学歯学部	64	60	51	85.0	49	46	44	95.7	15	14	7	50.0
九州大学歯学部	72	64	54	84.4	57	51	44	86.3	15	13	10	76.9
九州歯科大学	126	124	105	84.7	88	88	82	93.2	38	36	23	63.9
福岡歯科大学	143	128	103	80.5	115	100	84	84.0	28	28	19	67.9
長崎大学歯学部	70	69	60	87.0	57	56	51	91.1	13	13	9	69.2
鹿児島大学歯学部	67	66	56	84.8	52	52	46	88.5	15	14	10	71.4
認定及び予備試験	3	3	2	66.7	1	1	1	100.0	2	2	1	50.0
総 合 計	3905	3465	2408	69.5	2772	2355	1921	81.6	1133	1110	487	43.9